

◎ボスミン注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】エピネフリン (U) epinephrine 【分類】血管収縮止血剤

【単位】◎1mg/A [0.1%, 1mL]

【常用量】■1回0.2~1.0mgを皮下注、静注■1回0.25mg以下を点滴静注【救急蘇生ガイドライン】心停止時の静脈投与は1回1mgを3~5分間隔で追加投与

■アナフィラキシーには0.5mgを大腿外側広筋もしくは臀部に筋注 [皮下注では効果発現が遅く、心停止していない場合の静注は危険]

【用法】静注、皮下注、筋注など

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】直接作用型の交感神経興奮性アミンであり α 及び β -アドレナリン作動性受容体に作用する。気管支拡張作用、血圧上昇、心臓刺激、散瞳、局所止血作用を示す。

【主な副作用・毒性】肺水腫、呼吸困難、心停止、不整脈、顔面紅潮、血圧異常上昇、頭痛、めまい、振戦など

【モニターすべき項目】血圧、ECG、尿量、心拍出量、中心静脈圧、肺動脈圧、肺動脈楔入圧 (U)

【代謝】肝臓、交感神経末端及びその他の臓器で代謝される。肝、腎、血漿でモノアミンオキシダーゼ (MAO) と catechol-O-methyltransferase (COMT) により代謝される (U)

【排泄】極少量が未変化体として尿中排泄される (U)

【t1/2】1min (U) 第1相3min、第2相10min (11)

【蛋白結合率】50% (11)

【Vd】データなし (1)

【MW】183.20

【透析性】データなし (1)

【TDMのポイント】TDMの必要はない

【効果発現時間】心血管系：直ちに、気管支拡張：変動しやすい (筋注) 6~15min (皮下注) (U) 【最大効果発現時間】気管支拡張：0.3hr (皮下注) (U)

【効果持続時間】心血管系：1~2min、気管支拡張：1~4時間 (筋注、皮下注)

【更新日】20230516

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。